

国際金融論 FH21 041 / K61 1501	
第1学期 木曜 3・4時限 (2単位)	対象： 2－4年生
担当教員： 藤井英次 3F1237 電話 853-5176	
E-mail efujii@sk.tsukuba.ac.jp Office hours: 授業において公表する	
教科書： 『コア・テキスト 国際金融論』 藤井英次著 新世社 2006年	
授業概要・教育目標： 貨幣と為替レートに焦点を合わせながら、国際金融取引の意味・効果について考え、開放経済の成り立ちを学ぶ。具体的なテーマとして短期・長期における均衡為替レートの決定要因、開放経済における金融・財政政策の効果などを予定。	

授業計画：	
第1週	導入：経済学的思考と国際的視点
第2週	開放経済の全体像：国民所得勘定と国際収支勘定
第3週	貨幣と為替レート
第4週	金利・資産収益率と為替レート：短期における均衡為替レートの考察
第5週	金利・資産収益率と為替レート：短期における均衡為替レートの考察
第6週	物価と為替レート：長期における均衡為替レートの考察
第7週	物価と為替レート：長期における均衡為替レートの考察
第8週	為替レートと生産物市場： 経常収支の考察
第9週	為替レートと開放マクロ経済政策
第10週	為替レートと開放マクロ経済政策

成績評価： 中間試験と期末試験による。中間試験の実施は第6週を予定。(但し、授業の進行状況によって変更の可能性あり。)
備考： 平成16年度以降の入学で、既に「国際マクロ経済学」の単位を取得している者は本科目を履修することはできない。私語、携帯電話の使用等、授業の妨げとなる行為をするものの受講は認めない。また、卒業年度、その他のいかなる事情に関わらず、成績不良者の救済措置は一切行わない。授業計画は実際の進行状況によって適宜変更を加える。